



校長室だより

校長 山崎 聡子

児童会の子供たちの思い

先週に引き続き、令和5年度の児童会の子供たちの思いを紹介します。

〈令和5年度児童会メンバー〉



【令和5年度 議長】

今年の児童会では、「協力・助け合い」などのキーワードを目標としてプロジェクトを考えてきました。今までの相武台東小学校は、明るく元気な学校だったと思います。でも、これからは、明るだけでなく思いやりもあるやさしい学校にしていきたいと考えていました。休み時間には、よりよい学校にするために話し合いをし、このおかげで私は、話すこと、聞くことの大切さを学ぶことができました。この一年間で相武台東小学校は一歩進むことができました。その一歩に関わることができて、とてもうれしかったです。この一年あっという間に終わってしまいましたが、その中でもたくさんのことを考え、学ぶことができました。今年度学んだことを取り入れながら中学校でも過ごしていきたいです。本当に一年間ありがとうございました。

【令和5年度 書記】

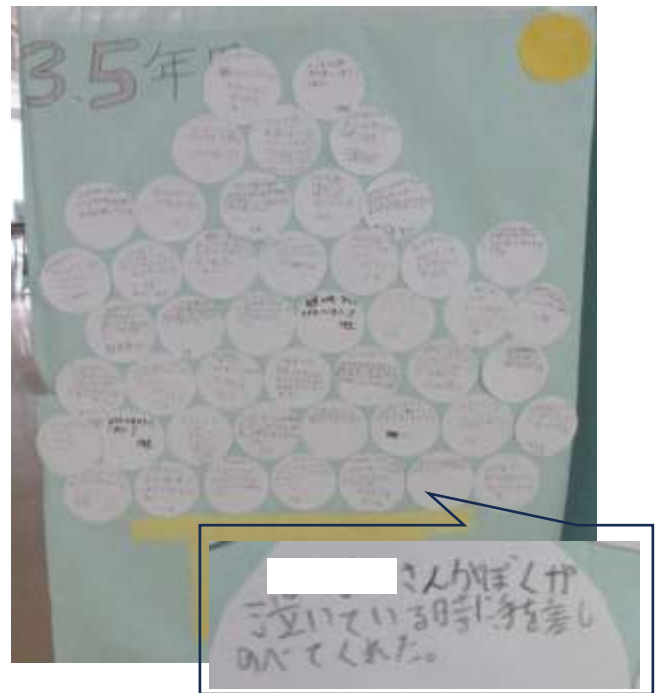
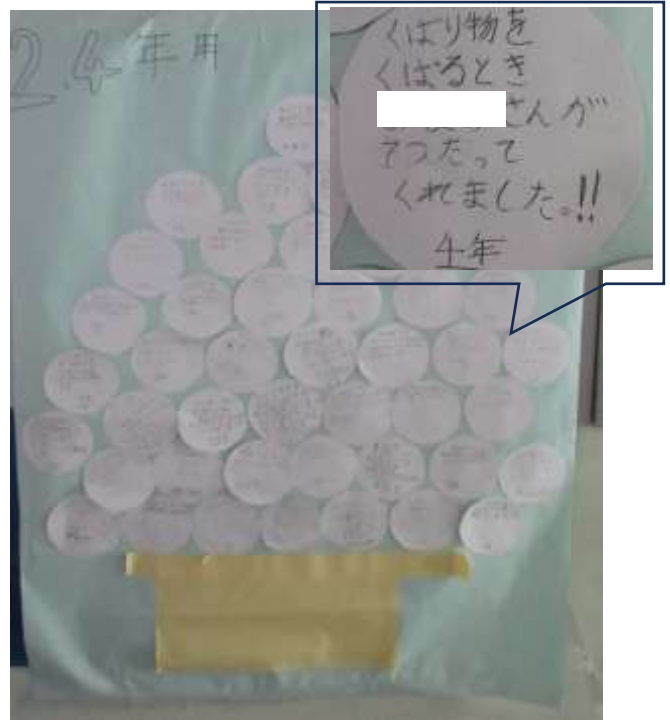
児童会の活動は、正直に言うと大変なことでもたくさんありました。でも、それ以上にうれしい気持ちになることがたくさんありました。例えば、5年生の時、担任の先生が児童会にさそってくれたことは、ぼくを信頼してもらえるうれしさを、児童会選挙でスピーチした日は、共感してもらえるうれしさを教えてもらいました。運動会では児童会の先生に話し方のアドバイスをもらったり、助け合いプロジェクトの会議を会長や議長と協力してまとめたりすることができたのもうれしい経験でした。何よりうれしかったのは、プロジェクトの説明のげきで、みなさんに笑ってもらえたことと、たくさんの方がプロジェクトに参加してくれたことです。きっと、何年たっても、ぼくはこのうれしさを忘れないと思います。ありがとうございました。

【令和5年度 副会長】

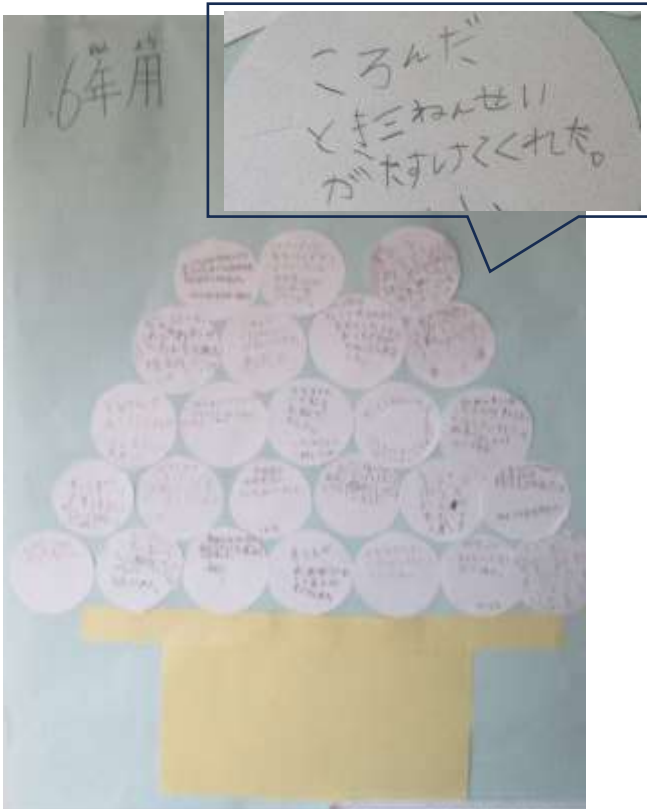
ぼくは、児童会をやって学んだ事が2つあります。1つめは、あいさつの大切さです。朝会の前のあいさつ運動で、あいさつをするとみんなが笑顔であいさつを返してくれるので、とても気持ちよく思うことができます。2つめは、何事にも積極的に取り組むことです。積極的に取り組むことで、授業や児童会で意見の発表にすぐ手をあげることができることです。ぼくはこのような経験から、来年度からは、まわりをよく見て伝えてあげることや、けじめをもち行動するなどの新しいことにどんどんチャレンジしていきたいです。一年間ありがとうございました。

【令和5年度 副議長】

ぼくは、一年間児童会をつとめさせていただいて、学んだことがあります。それは「あいさつの大切さ」です。児童会を始める前までは、あいさつをする意味などがあまりわかりませんでした。ですが、児童会をし、朝会などであいさつをして返してもらえたことがとてもうれしかったので、あいさつをする意味を知りました。さらに助け合いプロジェクトでは「うれしかった」や「よかった」などを書いてあり、助け合いプロジェクトをし、その事が増えていくと、もっといい学校になりました。児童会で学んだことを生かして、この学校の最高学年として、みんながうれしくなるような学校生活を心がけたいです。児童会をして大変なこともありました。自分がやりたいと考えてした児童会なので、とても楽しく充実した時間でした。一年間ありがとうございました。



<助け合いプロジェクト>



仲間と共に活動に取り組む中で、様々なことを考え、感じ、前進してきたことが伝わってきます。学校の中心となって活動してくれた児童会の子供たちに感謝ですし、児童会が発信してくれたことに協力してくれた子供たちみんなに感謝です。

*新児童会の子供たちの思いについては、また紹介していきたいと思います。